

残る日を大切に

日ざしの明るさにさそわれて、朝からウキウキしながら公園やびわ湖岸に散歩に出かけています。
いろいろなクラスが誘い合って、小さな手と少し大きな手をしっかりとつなぎ、顔を見合わせながら嬉しい気持ちがあふくらみ、みんなといっしょの楽しさと、歩幅を合わせるやさしさが伝わってきます。

さて、今年度最後の保育参観のステージでは、子どもたちのさまざまな心が動いて私たちを楽しませてくれました。そして、一人ひとりの子どもへの皆さまのまなざしと拍手が一つになって響きました。

21日は、いよいよめろん組さんの卒園式です。

おめでとう!! 今までありがとう!

- かけはし -

☆卒園式について(午前10時～)

卒園児、卒園児保護者の方、在園児、職員、そして来賓の方も
お招きして卒園をお祝いします。

☆お子さまの成長・発達の姿を!!

4月(入園)からの園生活を振り返り、生活習慣の自立の状況や、遊びの中での育ちなど、一人ひとりの成長の姿を書面でお知らせします。(お子さまの育ちを振り返り、お家の方からの感想等をご記入いただき、担任までご提出ください)

☆お別れの集いの中身は“ないしょ”

ぶどう組さんが中心になって、お別れ会を考えてくれています。
めろん組さんは、小さい組の子どもたちへ、小さいクラスからは、めろん組さんへ。さてさてどんな集いになるのでしょうか。

☆春の保育期間(27日・28日・31日)

新年度に向けて、保育室の整備や受け入れ準備をします。お忙しいとは思いますが、ご協力よろしくお願いします。きつすノート「お知らせ」で出欠の有無のアンケートを取らせていただきます。ご回答ください。

3月の園だより

浜大津保育園
令和7年2月28日発行

シリーズ

- ちょうどいいのが ちょうどいい -

ちょうどいい ～子への関わり方～

「「せんせー 見てー!!」「せんせー 上手?」と聞く子どもたち。先生たちは「上手だねー」「すごいねー」と応えます。
そうすることで、子どもたちの自信になって、いわゆる自己肯定感が高まっていくのです。
でも、4、5歳くらいになると、先生の返事が少し変わってきます。
「せんせーこれでいい?」と聞かれると、「○○ちゃんはどう思う?」「お友だちにも聞いてみようか」など、自分で決められるように。また大人ではなくて友だちを意識できるように促しています。」

大人は、良かれと思って子どもに指示をしたり、ヒントを言いすぎるが多々あります。でもそれで子どもたちは、【失敗できない、失敗しないようにうまくやらなければいけない】と思って、「これでいい?」「これで大丈夫?」と大人に評価してもらえないと自信が持たなくなってしまうのです。
子どもたちの自己決定する機会を大人が奪ってしまうのです。
その点、友だちはある意味正直で、「なんかへん(´・`)」「ちがうと思うけどな」とガンガンぶつけてきます。
子ども心に傷つくこともあるかもしれませんが、子どもたちの会話を聞いてみると、「そんなこと言わんといてよ」「じゃあ どうしたらいいと思うのよ?」と言い返し、対等に話し合いする力を着実に育んでいます。

おわりに

今年のシリーズは、高山静子氏著『ひだまり通信』を参考にしてきました。

子どもが家族に加わると、食えること、眠ること、体を動かすこと、家族で話し笑いあうこと・・・といねいに暮らすことが大切だと思うようになります。
モノやサービスを消費することを「豊かさ」と勘違いしそうな大人たちには、幼い子どもたちは砂場で飽きることなく遊んでみせ、自分でつくりだす豊かさに気づかせてくれます。
わずらわしい関係はできれば避けたいと思う私たちに、人の中へと引っ張り出し、ほかの子が持つスコップを取り上げ、親に頭を下げさせます。子どもたちは、私たち大人に、暮らしや価値観の見直しを迫っているのではないのでしょうか。(高山静子)

3月の行事予定

3日(月) 3月生まれの誕生会・ひな祭り会

5日(水) 食事指導(1年のふり返り)…めろん組

6日(木) 身体計測…年少組

保健指導(1年のふり返り)…ぶどう・めろん組

7日(金) 身体計測…年長組

10日(月) 令和7年度新入園児保護者説明会

12日(水) お別れ会(めろん組さんとのお別れの集い)

めろん組クッキング(パン作り)

21日(金) 卒園式(卒園おめでとう)

お弁当の日

22日(土) 新年度に向けて職員会議

26日(水) 令和6年度おわりの集い

27日(木)・28日(金)・31日(月)

新年度準備(家庭保育協力日)

◎避難訓練(?日)…予告なし

◎進級式…4/1(火)通常保育が始まります

◎入園式…4/4(金)

